

2024 年度第 1 回研究会 報告書

日時：2024 年 7 月 24 日

形態：オンライン

出席者：亀谷学 川本智史 熊倉和歌子 後藤絵美 佐藤将 深見奈緒子 吉村武典

Yasser ElShayeb

報告者：Yasser ElSyayeb

本研究会では、Yasser ElSyayeb 氏（カイロ・アメリカン大学）をお招きし、都市分析における GIS 利用の可能性についてご報告いただいた。はじめに、ElShayeb 氏がこれまでに携わってきた人文系の研究プロジェクトについての説明があった。鉱山学研究のバックグラウンドをもつ氏は、その専門から、GIS を用いた発掘調査などに携わった経験があり、日本の発掘調査隊との共同研究の実績も紹介された。次に、GIS がもつ機能と、データ構造の特長についての説明があった。GIS のデータ構造の特長としては、対象とする地域に対して、テーマ別に複数のレイヤーを設定することが可能であり、それを重ねていくことにより地域的な傾向を見出していくというものであった。このような特長を踏まえ、この共同利用・共同研究課題において GIS を用いてどのような研究が可能であるかを出席者で議論した。特に、現在作成中の 20 世紀前半のカイロの地図（1 千分の 1 図および 5 百分の 1 図）を都市研究に利用する際に GIS は不可欠であると考えられるが、それでは、GIS の機能を応用することによって、どのような研究が可能となるか、ということについて議論された。この他、GIS で利用可能なデータについても話が及ぶなど、有益な情報交換がなされた。

ElShayeb 氏は、現在、共同研究者の深見奈緒子氏とともにこのような問題に取り組んでおり、近日中にその途中報告も行われる予定である。

文責 熊倉 和歌子